

〈開会式〉

スポーツ専門職養成のために

－セミナー挨拶－

鹿屋体育大学学長 芝 山 秀太郎

このたびは「SCO-OP 国際セミナー」のために、国内はもとよりドイツ・カナダ・韓国からもご参加いただき、誠にありがとうございます。鹿屋体育大学の教職員を代表して、心より御礼申し上げます。また、本セミナー開催にあたり、特別のご配慮とご協力をいただきました文部科学省はじめ、関係の皆様に深甚の敬意を表します。

本セミナーは、高度で専門的なスポーツ指導者養成を目指す本学の教育研究の理念に基づき、特に、スポーツビジネス分野における専門家養成に向けた SCO-OP プログラム開発の一環として、スポーツ専門職と産学連携教育プログラムの現状と課題について、専門家を交えて議論を深めることを目的としています。

本学は開学当初より、日本唯一の国立体育系単科大学として社会体育の指導者養成に主眼を置き、学生が実践的な指導力を習得するための場として、2週間の社会体育実習が必修として課せられていました。社会の変化とともに社会体育は生涯スポーツという言葉に変わり、本学のカリキュラムも時代の要請に応じて改訂を重ねてきました。しかしながら、スポーツ振興基本計画や健康日本21などの政策にも見られますように、現代の社会において体育・スポーツの果たすべき役割はますます重要になってきています。そのような中で、体育・スポーツの専門家として有用な人材を輩出していくことは本学の使命であり、その使命を遂行するために、産学が連携して実践的なキャリアトレーニングに取り組む SCO-OP プログラムの開発は極めて大きな力になると考えています。ひいては、わが国における体育・スポーツ系大学のフロンティアランナーとして、鹿屋体育大学の理念を未来へ引き継いでいきたいという思いも抱いています。

今回の国際セミナーで得られた成果が、わが国の体育・スポーツ系大学における学生教育に大きく貢献するに違いないことを確信して、ご挨拶とさせていただきます。